

「コーヒーローストは調理だ!」と「コーヒーは果実のスープだ!」をモットーに日々進化するコーヒー屋さんからの季節の移ろいとコーヒー話が詰まっています。


ITSUMO
COFFEE
2014.6.1

い つ も コ ー ヒ ー 便 り

2014年6月 (第31号)

1. 6月はサッカー漬けか・・・

札幌で5月末には47年ぶりの気温30℃を超え一気に夏が来たかと思えば翌日には肌寒く体調を整えるにも大変な5月でした。



さて、6月にはブラジル・ワールドカップサッカーが始まります。

前は決勝トーナメントまで進むも1回戦で敗退しました。試合日程は15日(10:00)20日(7:00)25日(5:00)となります。毎回感動的な試合を見せてくれていますから今回も決勝トーナメント進出への期待が大きくなります。

2. 6月の当店イベントのご案内

☆当店では6月22日(日)にコーヒー教室を開催いたします。午前、午後の2回開催となり、まだ席に空きがあります。Tel 011-616-0155(時間帯によって電話出られない場合もあります)までお問い合わせください。

☆父の日向けの「コーヒーギフト」と「コーヒーと焼き菓子ギフト」の2種類を販売していますのでネットショップをご覧ください。

3. ハワイ島カウコーヒー祭りその1

5月8日からハワイ島に行ってきました。行き先はカウ地区のパハラという町です。人口1,000人程度の小さな町です。今回の目的はコーヒー生産者との交流と現在ハワイカウコーヒー専門店カ

ナウフェで扱っている農園をさらに増やしたいことから交渉を進めることです。

宿泊先は前回訪れたことのある日本人オーナーのプランテーションハウスです。サトウキビ栽培の全盛時代のマネージャーが住んでいた住宅をコテージ風に改装したものです。



到着日には WELCOME ディナーで迎えてくれました。ラスティーズハワイアン農園オーナー・ローリー氏、カウ地区コープ組合長・グロリア氏、運転と案内をしてくれるピーター氏とその奥様(なんとボルケーノ地区で日本語を教える先生でとても流暢な日本語でした)、ハウスオーナーと和気あいあいのパーティーとなりました。



特に食事は現地で食べられているものを持ち寄ってくれてどれも美味しいもの

ばかりでした。ローリーは食後用に美味しいコーヒーを用意してくれました。

その夜組合長のグロリアから「もしかすると明日の朝、コーヒーの花が満開かも知れない。入園を許可するから行ってみなさい。」と聞かさ

れ翌朝の予定を変更していざ農園へ行ってみました。すると農園のすべての木が満開。このコーヒー祭りに合わせたかのように満開を迎えたのです。それもこの地区全体で1週間程度の期間しかこの光景は見れないのですからとても貴重な期間に訪れたこととなります。



コーヒーの木は苗から育てて3～4年間は実が生りません。もちろん花はその間咲きません。白い花が咲いてから6か月間かけて赤い実(コーヒーチェリー)が生ります。

カウコーヒー祭りでは農園オーナー数名と会うことができました。写真は《カウコーヒーミルハワイアン農園》のエドモント・オルソン氏。



メイン会場のステージではフラやスラックギター演奏など終日楽しむことができます。



お祭りには「コーヒー農園ツアー」が有料イベントとして企画されます。メイン会場から4輪



駆動車で20分程かけて山道を上ると農園に到着します。運転は

現地の運営関係者がしてくれますが、出発前に誓約書にサインしなければ乗せてくれません。というのは事故などが起きた場合は《自己責任》であることを誓約しなければならないのです。さすが契約社会アメリカ、日本のイベントとは事情が違いますね。

次回もハワイ島ツアーの様子を予定していますが、観光面について書こうと思っています。

《編集後記》

気が付くと6月を迎えました。2014年も中盤に差し掛かったこととなります。早いものです。さて先月号で映画「アナと雪の女王(日本語吹



き替え版)は何が良いか分からないと書きましたが、それらしき自分なりの理由が分か

ってきました。それは明らかに「Let It Go (ありのまま)」の歌ですね。それも雪の女王エルサの抑圧されてきた心情を解き放つことに共感する歌だったのでしょう。たぶん……。それでは7月号をお楽しみに。